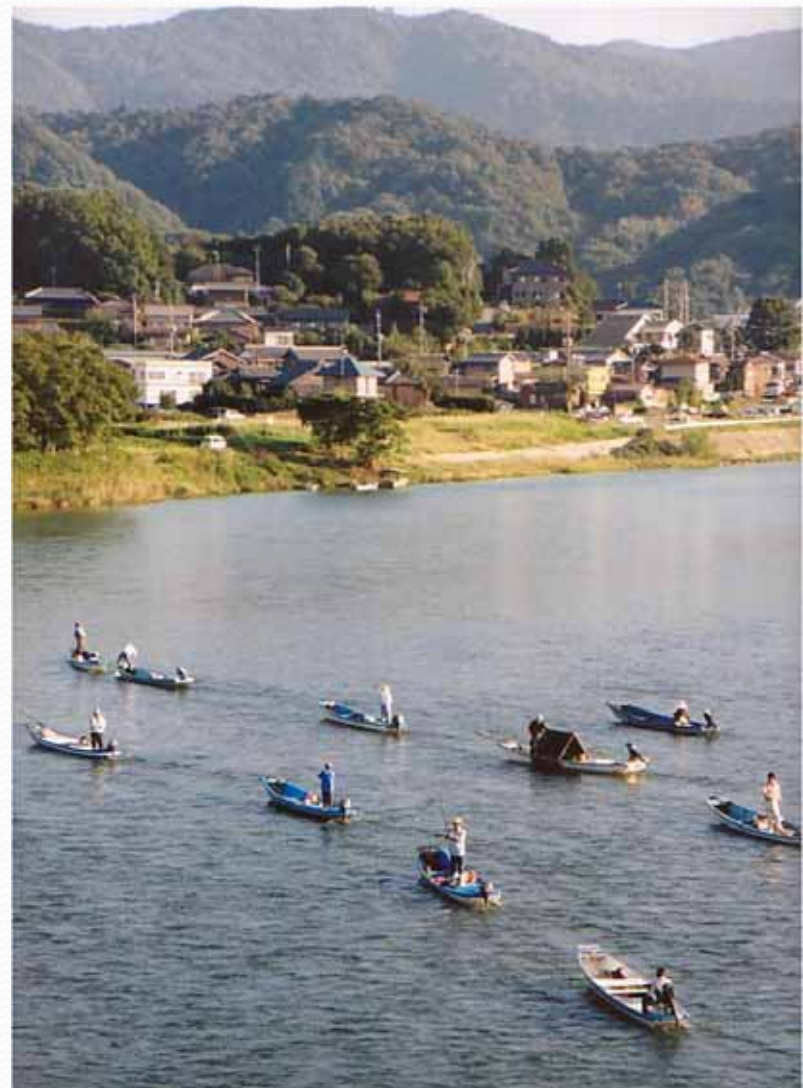


# 宮川流域ルネッサンス 円卓会議2008 報告

ファシリテーター 奥山 壽一

# 悠久の流れ 宮川



# 円卓会議の流れ

時期	テーマ
平成14年度 ～平成16年度	流量回復・水質保全、 森林保全、地域振興
平成17年度	具体的な行動へ 想いをかたちにプロジェクト
平成18年度	共通の目標・想いを見出す 円卓ワークショップ
平成19年度	共通の目標・想いに位置づいた “子ども達との連携”を実現するために
平成20年度	“子ども達との連携”のために 宮川の読本・冊子の作成について協議

# 私達の生活再見

私達は宮川と共に生きていますと  
自信を持って言えるでしょうか？



- 私達は知恵と努力で科学技術を手にし、進歩・成長・発展という言葉のもと、物質的に豊かな生活をしてきました。しかし、現在、地下資源の枯渇、生物の減少、真水の不足等、私達自らの起因で生活が脅かされているのも事実です。
- 今、私達は現在の生活を素直に見直し、宮川流域に生きる先人達の知恵を、将来の子ども達と共に学び、“真の宮川との暮らし”を再起・再生すべきと思います。

# 私達の生活再見

私達は宮川と共に生きていますと  
自信を持って言えるでしょうか？



- 円卓会議は、平成14年度からスタートし宮川の保全、保護、継承を理念として流量・水質・森林・振興と幅広い議論がなされました。これら諸問題の解決には、多くの人々の意識向上やお互いの理解、そして時間、コストがかかります。流域案内人の皆さんまた各地域で活動されている方々にはそれぞれの立場で話し合い努力されているところです。

# 私達の生活再見

私達は宮川と共に生きていますと  
自信を持って言えるでしょうか？



- 今後、流域の皆さんがより意思統一を図り、できるところから進める、そして継承するために、子ども達に視点をあて、現在に至っています。この方向性の糧として、子ども達と共に宮川流域に学び活動できる読本「宮川流域活動冊子」を計画したいと思います。



# 宮川流域活動冊子基本計画

## - 冊子の基本コンセプト -

- 宮川流域の現状と将来
  - 流域の流量減少、水質悪化
  - 森林荒廃が幾何級数的
  - 川との実生活が離れており川の恵みを生活に取り入れる必要がある。
  - 子ども達も川や流域で遊ばなくなっており、子ども達の声を川に戻す。
  - 子ども達をとおり親や地域住民も川の大切さを知る。

- 冊子の目的・必要性
  - ルネッサンス理念である宮川再生の一つの実活動の手引き・案内
  - 子ども・親・地域人が宮川を身近に感じ活動するためのきっかけとする。
  - 将来を担う子ども達へのメッセージ(興味を持つ、遊びから学ぶ)
  - 冊子が子どもや大人と宮川流域をつなぐパイプ役・糧とする。



宮川に遊び学ぶ

子ども達と共に!!

宮川と実生活を共に



- 冊子の基本コンセプト

及び方向性

- 自然そして先人の知恵に学ぶ。
- 宮川の今、宮川の姿が分かる。
- 宮川流域全体がイメージできる。
- 宮川らしさ、地元らしさ、特徴を生かす。
- 宮川流域への興味を持つ。
- 宮川の大切さを心と体で感じる。
- 冊子から流域を知り人を知る。
- 活動するための手引書となる。
- 室内ではなく流域全体に学ぶ。
- 子ども達が自ら考え自ら行動する。
- 子ども達から親・大人へ輪を広げる。

# 宮川流域活動冊子基本計画

## - 冊子の基本テーマ -

森

原生林



大樹



木工品等

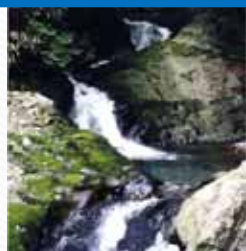


水

源流



滝



清流



土

連山



災害



稔り



### ● 活動冊子の基本テーマ

- 真の宮川・自然に出会う。
- 先人に学び宮川流域に生きる。
- 宮川で遊び学ぶことの本意を知る。
- いつも宮川を身近に感じる。
- 流域に生かされていることを知る。
- 生きものの本能で宮川と接する。
- 興味・協力・探検・発見
- 素直な子ども達に学ぶ。

# 宮川流域活動冊子基本計画

## - 冊子の仕様計画 -

### 冊子の題材計画

- 宮川らしさ、流域らしさがある。
- 流域で遊び学び感謝できる。
- 流域を敬い守り、大切にする。
- 流域で真の存在価値がある。
- 森・水・土をテーマに流域の本物
- 希少・秘伝・伝統・継承
- 流域のオンリーワン
- 宮川流域の正直な姿

2009(H21)活動

### 題材の収集・整理

- これまでのルネッサンス事業の情報
- 円卓メンバーによる情報
- 流域住民による情報提供
- 題材現地での調査・記録

### 冊子の構成計画

- 宮川流域全体を印象づける。
- 下流から上流(源流)へ遡る。
- 題材紹介 詳細情報 現地への流れを企画する。
- 見開きに題材を紹介する(読み聞かせ詳細コラムを載せる)。

2009(H21)活動

### 構成・まとめ

- 円卓メンバーによる企画提案・検討・基本的構成のまとめ
- 専門家参加による構成作業(思いやりのある専門家)

### 冊子の表現・手法計画

- 子ども達(+大人)が興味を持つ企画
- キャラクターを登場させ楽しさを出す。(アユ・ウナギ・ズガニ・カワセミ等)
- 友達・家族・仲間等、人のつながりを表現し親近感を持つ。(博士・年長者)
- イラスト・写真を多く、コメントは短く
- 各シーンに子ども達やキャラクターを載せる。
- 問いかけ、考え、行動できる手法

2009(H21)活動

### 設定・まとめ

- 円卓メンバーによる企画提案・検討・基本的表現・手法のまとめ
- 専門家参加による作画・作図・撮影作業(思いやりのある専門家)

(仮称)宮川流域活動冊子 完成予定(H21)

# 宮川流域活動冊子基本計画

## - 冊子の利活用計画 -

### 利活用の目的・想い

- 子ども達の志気を高め、流域を知る。
- 家族や人と人のつながりを深める。
- 人と流域(自然・人)のパイプ役
- 流域の自然、生きもの、環境を大切にする。
- 興味・やる気のある人・団体に配布

### 親子 家族

- 親子、家族で川・山に出かけ、その地域を知る手引き
- 家族 + 地元の人と協力して、流域で活動する手引き
- 親子・家族の絆をより深めるために
- 水・土・光等自然や物の大切さを五感で感じるために

### 地域 活動 グル ープ

- 流域案内人の自らの活動の資料として
- 地域の自然や生活文化を守り継承するために
- 温故知新の精神で先人の人達から学ぶ手引き
- 冊子をとおして地域の活動グループや活動者の枠を広げる。

### 教育

- 学校の総合的な学習の時間などの地域学習冊子として
- PTA・子ども会等の地域学習活動のために

### その他

- 地域に生きる遺産の保存・継承のために
- 地域に生きる自然や生活文化を流域外へPRするために
- 冊子情報をホームページに載せ、ダウンロードできるように企画